

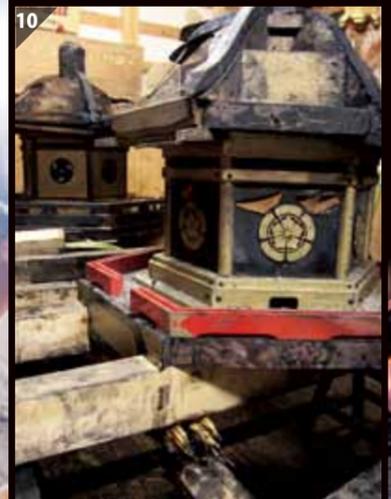
奉燈 繚乱



1 ① 3日夜、役場前広場に設置された大松明5本と置き松明がキリコを迎える。40数本のキリコが順番に松明の周りを乱舞するが、クライマックスでは町内に戻るキリコと広場に入るキリコ10数本が入り乱れる
② 笛や太鼓、担ぎ手まで、女性の参加が祭りに彩りを添える
③ 3日昼、棚木海岸に向けて移動するキリコ。宇出津新村通りは行き交うキリコで混雑するため「キリコ銀座」と呼ばれる



④⑤ 4日深夜、八坂神社境内で入り宮前の大暴れをする白山神社のあばれ神輿
⑥⑦ 4日夕方、お旅所横の海に落とされる酒垂神社のあばれ神輿。海からあげられるとさらに火の中へ投げ込まれる
⑧⑨ 八坂神社へ向かう途中、梶川に落とし回したり橋脚にぶついたりする
⑩⑪ 入り宮の神事終了後、責任者二人が感謝を込めて御神酒を神輿にかける



あばれ 祭

国立歴史民俗博物館へ
平成25年4月から、国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市）で

現在は展示用のキリコや神輿など展示資料の製作が進められている。常設展示されれば、あばれ祭が日本を代表する祭礼として国内外に広く知られることになり、その波及効果に大きな期待が寄せられている。

2009

宇
出津地区の祭礼「あばれ祭」は7月3、4両日に開催され、能登のキリコ祭りのシーズン到来を告げた。

あばれ祭の主役はキリコと神輿。初日の夜は役場前広場で40数本のキリコが大松明の周りを乱舞し、二日目は2基のあばれ神輿が八坂神社へ入り宮するまで道路や川、神社境内で大暴れする。数ある能登の祭りの中でも勇壮な祭りとして毎年多くの観光客が訪れている。

博物館職員が「日本における共同体の折りが、ときに非常に激しい作法によって行われることがある」というテーマで情報収集し、昨年、今年とあばれ祭を見学。「あばれ祭を選んだことに間違いはなかった」と話しているという。

あばれ祭が常設展示されることが決まった。



神 恩感謝